様式第４号

事務事業評価表（公共施設）

評価対象年度	平成 28 年度
１次評価日（主幹等）	29 年 3 月 31 日
２次評価日（課長等）	29 年 5 月 31 日

１ 事業名	川岸支所運営事務			コード	161207
２ 担当部課	部等	総務部	課等	川岸支所	作成者	両角 太郎

３ 事業概要	目的体系	基本目標	総合計画の推進に向けて	
		政　策	総合計画の推進に向けて	施　策：市民総参加のまちづくり
	予算科目	川岸支所運営事務費	業務委託	なし（直営）
	実施義務	なし（選択的事業）	国県補助	なし
	設置条例	市役所支所設置条例		

●事業の内容（DO）

４ 施設の概要・設置目的

＊対象者（誰のため）、意図（どのような状態にしたいのか）

施設の概要（簡潔に）		川岸地区における市役所の出張窓口
目的	対象者	川岸地区市民等
	意　図	本庁の窓口として、親切・丁寧な対応で、正確かつ迅速に事務処理を行う

５ 施設の管理運営状況

指定管理者		28年度指定管理料	円
施設における通常業務	・戸籍及び住民基本台帳に関する届出の受理及び証明書交付　・印鑑の登録及び証明書交付　・埋、火葬許可　・市税等の収納及び証明書交付　・国民健康保険加入、離脱受付、保険証交付　・交通災害共済加入受付　・介護保険届出受付、保険料収納　・その他文書、物品預かり、本庁への発送		
事業の実施内容	（28年度に施設で行った運営事業・自主事業など） 有料利用内訳・市税等　1,462件　23,735,519円 ・使用料及び手数料　3,504件　2,052,114円 ・諸収入等その他　184件　864,156円 ・特別会計等　1,732件　10,361,205円 ・介護保険料　129件　733,090円 ・交通災害共済　48件　42,800円 無料利用内訳・住民異動　51件　・住居表示等変更証明　0件 ・無料証明　3件　・軽自動車納税証明　73件		
前年度の課題への対応	職場研修等を通じて担当各課との連携を密に取り合うことで、日ごろから連携をスムーズに行い、窓口での対応を迅速かつ丁寧に行うよう心がけた。		

６ 施設の利用状況

＊①は貸館施設のみ対象（ただし年間開設日数は入力）　＊②・③はどちらかの欄に記入　＊

区　分	26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 施設稼働率	100.0%	100.0%	100.0%	
年間開設日数（日）	244	240	243	243
１日の開設時間（時間）	9	9	9	9
年間利用可能時間（時間）	2,196	2,160	2,187	2,187
年間利用実績（時間）	2,196	2,160	2,187	
② 年間利用者数（人）	0	0	0	0
有料利用者数				
無料利用者数				
減免措置者数				
③ 年間利用件数（件）	6,808	6,993	7,186	6,993
有料利用件数	6,695	6,891	7,059	6,891
無料利用件数	113	102	127	102
減免措置件数				
④ １日あたり利用者数、件数	27.9	29.1	29.6	28.8
⑤ 施設利用状況の説明				

7 コストの推移

＊この事業にかかる費用（人件費は、1人あたり年間800万円で換算）　［単位：円］

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
① 直接事業費		1,752,239	1,738,503	2,411,902	3,850,000
	経常経費	1,752,239	1,738,503	2,411,902	3,850,000
	臨時的経費	0	0	0	0
	＊臨時的経費の説明				

区　分		26年度	27年度	28年度	29年度（予算）
② 人件費		8,000,000	8,000,000	8,000,000	8,000,000
	正規職員の人数（人）	1.00	1.00	1.00	1.00
③ 合計コスト（①＋②）		9,752,239	9,738,503	10,411,902	11,850,000
	前年度比		99.9%	106.9%	113.8%
	財源内訳 一般財源	9,752,199	9,738,423	10,411,802	11,849,000
	財源内訳 特定財源	40	80	100	1,000
	＊特定財源の説明	私用電話料			
④ 施設使用料年間収入額					
⑤ 年間減免措置額					
⑥ 受益者負担割合		0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
⑦ 活動一単位あたりコスト		1,432	1,393	1,449	
	前年度比		97.2%	104.0%	
⑧ コストに関する補足説明					

●事業の評価（CHECK）

8 妥当性評価

＊妥当性＝行政がこの事業を行う必要性はあるか。　妥当性　標準

評価項目	はい	いいえ
① 現時点で、税金を投入して積極的に関与するべき重要な分野である。	1	
② 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）へ委ねることが難しく、市が行う必要がある。	1	
③ 民間（企業、ＮＰＯ、市民団体等）が行うサービスと類似・競合していない。	1	
④ 国・県の事業、市が行っている他の事業と類似・重複していない。		0
⑤ この事業の効果は広く市民に還元され、特定者の利益にはなっていない。	1	

9 有効性評価

＊有効性＝施設の利用状況（項目6／住民の満足度）は向上しているか。　有効性　#DIV/0!

評価項目	はい	いいえ
① この事業が属する施策において、この事業の優先度が高い。	1	
② 社会情勢の変化や市民ニーズを把握し、事業の内容に反映している。	1	
③ この事業の目的を達成する上で、現在の方法が最も効果的で低コストである。	1	
④ 施設の利用者が増加した。　１日あたり利用者数、件数　前年度比　101.5%	1	
⑤ 施設使用料収入が増加した。　施設使用料年間収入額　前年度比　#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!

●改善の内容（ACTION）

10 具体的な課題と改善

課題	（施設の有効活用、施設サービスの向上、利用状況の向上を図る上で、現在課題になっていること） 市役所の出張窓口であるため、住民からの様々な質問や要望に迅速かつ丁寧に応じる必要がある。
改善方法	（上記の課題をふまえて29年度以降に実施する、具体的な改善の内容） 各課との連携を密に行い、常に最新の状態で対応を心がける。
改善開始時期	平成２９年４月

●次年度の計画（PLAN）

11 次年度の方針	継続して実施	12 施策評価による29年度の優先度 *H27年度施策評価表より転記すること	

13 大規模修繕の予定

予定事業費	円	予定時期	
内容			

様式第４号ー附表

平成28年度決算

施設の維持管理コスト計算シート

事業名	161207	川岸支所運営事務

１ 施設の維持管理にかかる直接事業費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	0	0	0	

２ 施設の維持管理にかかる人件費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数			0.00	人
合　計	0	0	0	円

３ 特定収入

単位：円

項　目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	0	0	0	

４ 一般財源

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計
合　計	0	0	0

平成28年度決算

施設の運営コスト計算シート

事業名	161207	川岸支所運営事務

１ 施設の運営にかかる直接事業費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	内訳
共済費	293,496		293,496	
臨時職員賃金	1,896,165		1,896,165	
消耗品費	124,621		124,621	
通信運搬費	97,620		97,620	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	2,411,902	0	2,411,902	

２ 施設の運営にかかる人件費

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計	
正規職員の人数	1.00		1.00	人
合　計	8,000,000	0	8,000,000	円

３ 特定収入

単位：円

項　目	経常収入	臨時収入	合計	内訳
私用電話料	100		100	
			0	
			0	
			0	
			0	
			0	
合　計	100	0	100	

４ 一般財源

単位：円

項　目	経常経費	臨時的経費	合計
合　計	10,411,802	0	10,411,802